

第3章 基本目標と施策展開

第1節 「自分づくり」のための学びの応援

めざす 10 年後の姿

- ・子どもから高齢者、障がいの有無、国籍等に関わらず、すべての市民が幅広く学習活動の場に参加しています。
- ・ライフスタイルに合わせた学習機会の場が充実します。
- ・生涯学習情報の提供が充実します。
- ・乳幼児期からの継続的な読書支援が充実します。

施策1 学習機会の充実

ライフステージ（乳幼児期から高齢者まで）に応じた学習機会の提供をはじめ、ニーズや時代に対応した講座の充実を図ります。

成人期、高齢期においては、心の豊かさや生きがいのために学ぶことを目的としたリカレント教育※の推進を図ります。

※リカレント教育：日本では、働きながら学ぶ場合、心の豊かさや生きがいのために学ぶ場合、学校以外の場で学ぶ場合もリカレント教育に含めている。

① 乳幼児期

乳幼児期の子どもとその保護者に対する学習の場を提供し、その充実を図るとともに、子育て支援の拠点施設を充実します。

施策名	内容
親子遊びや育児に関する講座の開催	遊びや育児に関する学習の場を設け、保護者の育児力の向上とともに、子どもの健全育成を図ります。
家庭教育講座・講演会の開催	乳幼児期の子どもを持つ保護者を対象に、家庭教育に関する学習の場を設け、家庭教育の振興とその充実を図ります。
子育て支援拠点施設の充実	子育て支援の拠点施設である子育て支援センター「はんだっこ」を始め、7館ある児童センターや地域子育て支援拠点事業の実施施設等の事業内容を充実します。

② 青少年期

青少年期は、豊かな人間性や自制心、自立心を身につける大切な時期であり、社会のルールやマナー、人間関係、他人を思いやる心や感性などを育むための学習を支援します。

施策名	内容
さまざまな体験活動の充実支援	学校・地域の連携により、豊かな心を育てるための体験活動や世代間の交流活動など、さまざまな活動を支援します。
キャリア教育※の充実	よりよく生きるための夢や目標をもち、働くことの大切さを学び、社会の一員としての自覚を身につけられるような教育活動を充実します。
情報モラル向上プログラムの実施	青少年がインターネット等、各種情報機器を適切に活用するよう、情報モラルの向上を図ります。
子どもの安全・安心な居場所づくり	子どもたちが地域で健全に育成されるよう、放課後子ども教室や児童センターの事業の充実を図ります。

※キャリア教育：なりたい夢をもち、かなえるための能力や態度を育てる教育

③ 成人期

成人期は、幅広い期間であり、それぞれに応じた学習の充実・支援を図ります。また、勤労者に対しては、学習機会を充実させるとともに、開催日時等を工夫し、参加しやすい状況を整えます。

施策名	内容
趣味や教養のための学習支援	市民が生き生きと豊かに暮らすため、趣味を身につけたり、教養を深めたりするための講座が充実します。
家庭教育講座・講演会の開催	青少年期の子どもをもつ保護者を対象に、家庭教育に関する学習の場を設け、家庭教育の振興とその充実を図ります。
勤労者のための学習支援	勤労者のニーズに応じたプログラムの実施や参加しやすい時間帯での開催など、勤労者のための講座を充実します。
学びのきっかけや学び直しのための学習支援	再雇用や再就職などのきっかけづくりになる講座を開設します。
在宅でも受けることができる学習支援	ホームページにより在宅でも学習できる学習コンテンツを情報発信します。

④ 高齢期

高齢者が自らの健康について意識し、生きがいをもって楽しく暮らすための学習機会の提供・充実を図ります。

施策名	内容
健康づくりを学ぶ機会の提供	運動と脳トレを組み合わせた運動プログラム「コグニサイズ」など、高齢者が健康づくりを学ぶ機会を提供します。プログラム終了後は、参加者が地域で自主的、継続的に取り組めるよう推進します。
生きがいづくりの促進	市民など多様な主体による「通いの場」を充実させ、高齢者等の教養の向上及び生きがいづくりの促進を図ります。

⑤ 生涯全般

年齢、性別、障がいの有無、国籍等に関わらず、自分らしく生きるための学習機会の提供・充実を図ります。

施策名	内容
学びたい時に学ぶことのできる学習機会の充実	子どもから高齢者、障がい者等誰もが、学びたい時に、学ぶことのできる学習機会の充実を図ります。
スポーツに触れる機会の拡充	心身ともに健康でいられるよう、子どもから高齢者、障がい者等誰もが、いつでも、どこでも、いつまでもスポーツに親しむことができる機会の拡充を図ります。
「みる」「する」「ささえる」スポーツの環境整備	競技者向けの各種スポーツ大会を開催するとともに、初心者向けスポーツ教室の充実を図ります。また、「みる」「する」「ささえる」など、さまざまな立場から楽しんでスポーツに関わることができる環境を整備します。
スポーツ施設の魅力向上	誰もが安心・安全にスポーツ施設を利用することができるよう、施設の効率的・効果的な管理運営を進めるとともに、魅力ある満足度の高い施設整備を推進します。また、利用率が低い時間帯の利用者数増加を図ります。

施策2 学習情報提供の充実

より多くの市民が生涯学習に関心をもてるように、より効果的な情報発信に努めます。

施策名	内容
学習情報提供システムの充実	生涯学習情報誌の充実を図るとともに、市ホームページ等による生涯学習情報提供を充実します。また、生涯学習や市民活動をはじめ、さまざまな活動に関する情報を集約し、インターネットを利用して、いつでも、どこでも情報を収集・発信できるシステムを構築します。また、SNS※などについても積極的に活用し、より効果的な情報発信をします。
市民ボランティア講師と市民をつなぐシステム作り	学びたい・気になる教室に気軽に連絡ができるよう、市民ボランティア講師の講座内容や連絡方法を載せた情報誌「マナナビ」の周知を図ります。

※SNS：ソーシャル・ネットワーキング・サービス（social networking service）ひとつのつながりを、インターネットを通じて構築するサービス。フェイスブックやツイッター、LINE、インスタグラムなど

施策3 読書支援の充実

学びの習慣が身に付くよう、乳幼児期からの継続的な読書支援や知的好奇心を育てる学習機会の充実を図り、市民の学ぶ意欲を高めます。

施策名	内容
子どもの読書活動支援	ボランティア団体等と連携し、子どもたちに読書の楽しさ、保護者に本を通じた親子の触れ合いの大切さを伝える事業を開催します。
誰もが利用しやすい図書館サービスの提供	電子書籍の導入、やさしい日本語での利用案内など、障がい者や高齢者、外国籍市民に配慮した図書館サービスの研究をします。
郷土資料・貴重資料のデジタル化	破損や劣化の恐れのある図書や古文書等の貴重な資料について、デジタル化等による保存を行うとともに、ICTを活用することで、より多くの市民が親しめるよう取り組みます。

第2節 「ひとづくり」のための学びの応援

めざす 10 年後の姿

- 地域の人材が生き生きと生涯学習活動をすすめています。
- 地域の活動や学習を通して、人間性や社会性が育まれ未来のリーダーが育っています。
- 市民の自主的な講座が多く開設されています。
- 地域・家庭・学校の連携が深まることで、若い世代をはじめ、市民に助け合うボランティア活動が広がっています。

施策1 生涯学習推進のための人材活用と育成

1. 学んだことを活かすことができる場の提供

市民が学んだことや特技を生かせるゲストティーチャー制度をさらに充実し、指導者の育成と学習活動に取り組む市民の発掘と、自主的な講座を開設する講師と市民の支援を図ります。

施策名	内容
ゲストティーチャー制度※の充実	ゲストティーチャー登録者を精選するとともに、市民が気軽に活用できるよう制度の改善・周知を図ります。
「まなびとゼミ」の充実	「学びと出会える場所」を提供することで、市民が「学び」と出会い、「学び人」となる講座を精選し、充実を図ります。
「マナナビ」※の活用	学びたい・気になる市民から直接連絡がとれ、自主的な講座を開設できるようにするため、「マナナビ」を活用します。

※ゲストティーチャー制度：小中学校、幼稚園、保育園、公民館などからの依頼に、事前に登録された一般市民の方が、特技を活かして、講師となって教える市民ボランティア講師制度

※「マナナビ」：学びたい・気になる教室に気軽に連絡ができるよう、市民ボランティア講師の講座内容や連絡方法を載せた情報誌

2. 人材育成の充実と支援

意欲的な市民がコーディネーターやボランティアとして活躍できるような場を提供するとともに、積極的に活動する団体への支援を行います。また、豊富な知識や経験を備えたシニア世代をはじめとした人材の発掘を進めます。

また、人間性や社会性を育むため、地域の行事やボランティア活動など地域活動への青少年の自主的、自発的な参加を促進し未来のリーダーの育成を図ります。

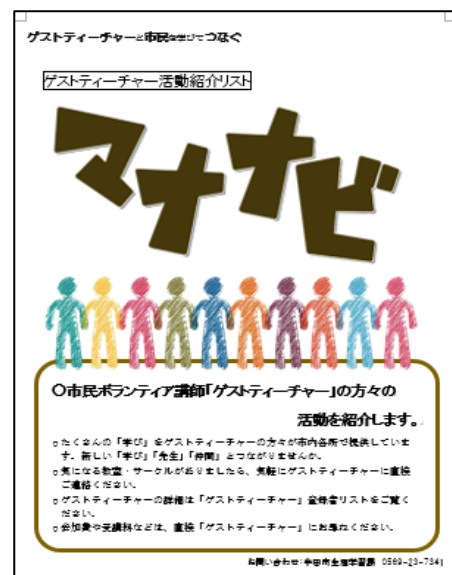
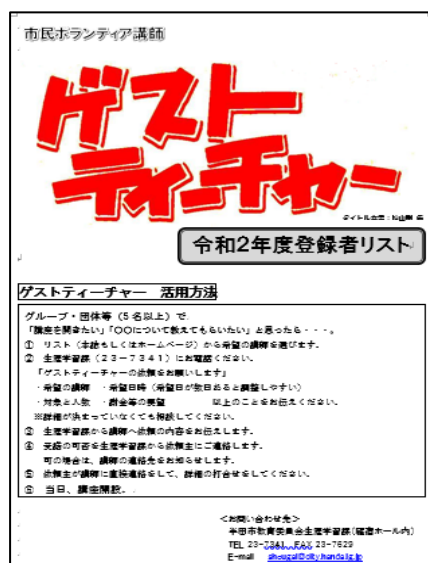
施策名	内容
ゲストティーチャー研修会	ゲストティーチャー登録をしている講師が、自分以外の講座を体験することで、ゲストティーチャーのスキルアップをめざします。
コーディネーターの活躍の場の提供	生涯学習や市民活動を充実するために、生涯学習コーディネーターや市民活動コーディネーターの活躍の場を提供します。
ボランティアの活躍の場の提供	生涯学習ボランティア、子育て支援ボランティア、高齢者向けボランティア等、さまざまなボランティアの活躍の場の提供をします。
シニア世代の人材の発掘	シニア世代の方が、セカンドライフを考える中で、市民活動などを知ったり、始めたりするきっかけづくりの場を設定します。
青少年健全育成団体の活動支援	地域の中で、心身ともに健康な青少年の育成を図るため、青少年健全育成活動を行う団体の活動を支援します。

施策2 市民の自主的な講座開設のためのシステムづくり

市民が企画した講座を充実するとともに、市民が自主的に講座を開催できるよう支援します。

また、「何かを教えたい」「教えたいことはあるが、どうやってすすめるかがわからない」といった市民が相談できる環境を整えます。

施策名	内容
公募型の市民企画講座の開催	ゲストティーチャーや社会教育関係団体をはじめとした市民や団体による企画講座を公募し、開催できる制度を充実します。
相談体制の整備	学びたいと考えている市民に収集した情報を提供し、学習に活かされるよう、学習相談窓口を設置します。
講座開設システムの充実	生涯学習情報誌の充実を図るとともに、市ホームページ等による講座開設の提供を充実します。また、インターネットを利用して、いつでも、どこでも情報を収集・発信できるシステムを構築します。
講座内容の充実	講座終了後に、受講者および講師、企画者による評価を行い、講座におけるそれぞれの満足度を測り、より良い講座の企画を進めます。



第3節 「まちづくり」のための学びの応援

めざす 10 年後の姿

- 地域の課題を解決するために、生涯学習施設が多く利用されます。
- 地域活動が充実し、伝統行事に参加する市民が増えます。
- 地域の資源を活かした各種連携がさらに充実します。
- 健康で心豊かなまちづくりにつながる学びの機会が充実します。
- 誰もが芸術文化を鑑賞したり、表現したりする機会が充実します。

施策1 生涯学習施設での学びの応援

市民及び市民団体が自主・共催事業を活発に行い、幅広い市民の参加を促進するための支援を行います。また、地域主体での住民が集まる交流事業を開催するとともに、地域のまちづくりを考える場として生涯学習施設を利用します。

また、だれもが使いやすい生涯学習施設とするために必要な施設の整備を進めます。

施策名	内容
ネットワーク化と地域施設との連携	中央公民館を中心として、各生涯学習施設と連携し、情報を共有することで市民の自主・共催事業を広く展開します。
施設改善及び整備	安全で快適に利用できるようにするため、バリアフリー化及び老朽化の著しい設備の改善を計画的に進めます。



旧 向山公民館



現 向山公民館

施策2 伝統行事に参加する市民への応援

市内には市民の貴重な財産である文化財が多くあり、文化財専門委員や専門家等の意見を踏まえ、適切な保存、継承に努めます。

特に、半田市の特色である海運・醸造文化やそこから育まれた山車を始めとした祭礼民俗文化を発信することで、市民の文化財保護意識の高揚を図るとともに、伝統行事への参加を促します。

また、全国に半田の文化の魅力を発信します。

施策名	内容
醸造・山車などの特色ある文化、文化財の保存・継承	指定文化財や登録文化財の保存継承の手法や技術について、文化財専門委員を始め、専門家や学識経験者からの助言による恒久的な保護に取り組みます。
文化、文化財の担い手確保の支援	市民が文化を身近に感じ、自らも文化の担い手であることを自覚することで、見学者から参加者へと変わる新たな枠組みを、伝統文化保持団体と検討します。
若者が文化や文化財に親しむ機会の提供	半田の特色ある文化や文化財について、若者が触れ親しむ機会をつくり、魅力の気付きや発信、担い手不足の解消へ若者の意見を取り入れます。



国の重要文化財 旧中埜家住宅



施策3 地域の資源を活かした各種連携への応援

日本福祉大学、小中学校、高校、企業等と連携を図りながら、市民参画による講座やイベントなど生涯学習関連事業の一層の充実を図ります。

また、それぞれが協力・連携した生涯学習関連の講座やイベントが開催できるような相互連携を推進していきます。

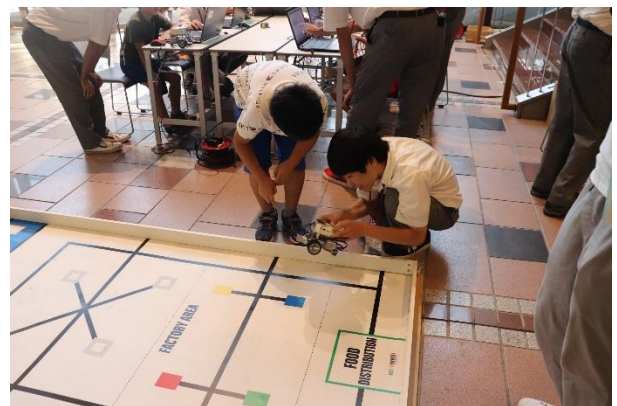
施策名	内容
地域とともに子どもを育てる連携	地域社会全体で子どもを育てる仕組みづくりを進めるとともに小中学校が地域に根ざした組織となるよう活動を支援します。
日本福祉大学との連携	大学が開催する講座・イベントのPR支援、市と大学との共催による生涯学習プログラムの充実、各種講演会・講座等への講師派遣依頼などの取組を充実します。
高校との連携	市内の高校との連携を図り、各種講座、イベント等を充実します。
各種団体との連携	市民活動団体やボランティア団体、観光協会、商工会議所、農業団体などの地元団体と連携を図り、各種イベントを充実します。
企業との連携	企業との連携を図り、各種講座、イベント等を充実します。また、より多くの企業ゲストティーチャー登録を働きかけます。

～オリジナルキーホルダーを作ろう！～
ものづくり教室
 日本最先端の鉄を作る技術を学び、工場見学をします。



【制作のようす】 【キーホルダー作品例】

- 日 時 令和元年8月7日（水）10：00～14：30
 ※集合9：30、解散14：45頃
- 会 場 JFEスチール株式会社知多製造所
 ※集合・解散 蔵のまち東駐車場（アイブラザ半田の北側にある駐車場）
- 対 象 市内在住の小学5・6年生
- 定 員 40名（応募多数の場合は抽選）
 ※受講決定通知はがきは7月22日（月）発送予定



子ども科学体験教室
 「高校生によるプログラミング学習講座」

施策4 健康で心豊かなまちづくりにつながる学びの応援

地域課題や生活課題に応じ、解決するための取組への支援を充実します。

また、地域課題や生活課題に応じた学習機会の充実を図ります。

施策名	内容
青少年の健全育成のためのまちづくり	人間性や社会性を育むため、地域の行事やボランティア活動など地域活動への青少年の自主的、自発的な参加ができる場の提供をします。
市民活動の活発なまちづくり	関心のある市民・学校・事業所が気兼ねなく活動ができる場の提供をします。
自分らしく生きられるまちづくり	個人の価値観やライフスタイルが多様化している中、だれもが個性と能力を発揮できる社会の実現に向けた学びの場を提供します。
多文化共生への意識づくり	国籍、民族等の異なる市民が互いの文化的な違いや特徴を理解する学びの場を提供します。
健康的なまちづくり	市民一人ひとりが日常生活の中で、健康づくりに取り組むことができるような学習の場を提供します。
福祉の充実したまちづくり	福祉理解が広がるための講座などを開催するとともに、障がいの有無によらず、誰もが共に学び、交流する場を提供します。
環境保全を意識したまちづくり	市民の地球環境や自然環境に対する意識の向上のため、再生可能エネルギーや身近な自然、生き物などに対する環境学習が充実します。



半田市鉄道資料館 C11265 蒸気機関車

施策5 文化・芸術活動の参加機会の充実と活性化

本市の文化振興を発展させるため、文化・芸術の拠点として、雁宿ホールを積極的に活用します。また、各生涯学習施設についてもその有効活用を図ります。

1. 参加機会の充実

施設の特性を活かしながら各施設が連携し、各種講座の開設、市民が気軽に参加できる機会を充実します。

また、時代のニーズに合わせ講座の内容を見直し、ライフステージに合わせて参加できる魅力ある講座を開設します。

施設名	内容
① 雁宿ホール・中央公民館	質の高い芸術や芸能等の文化と身近に接することができるよう文化振興の拠点として、より多くの市民が日常的に文化に触れられる機会を提供します。
Ⅱ 半田市立図書館 ③ 亀崎図書館	各年齢層に向けた講座・行事を開催するとともに、関連資料の充実を図り、市民の文化活動を支えます。
Ⅱ 半田市立博物館	子どもから大人まで、幅広い年代の市民が参加できるように、学芸員の専門性を活かしつつ、専門的であっても分かり易い体験型の講座や企画展を、多岐にわたって行います。 また、祭礼・山車文化をより身近に感じられるよう、保存団体との連携による体験型の講座や展示を行います。
Ⅱ 半田空の科学館	幅広い年代が楽しめるプラネタリウムの番組を投影し、それらと連動した企画展示を行います。また、星空を学ぶ星見会などを開催します。
Ⅲ 新美南吉記念館	読書会や朗読会で作品に親しみ、講座や講演会で学び、新美南吉童話賞で創作に挑戦するなど、市民が多様なアプローチから新美南吉とその文学に触れる機会を提供します。
Ⅳ 半田市鉄道資料館	武豊線開業初期のレールを始めとした鉄道関連資料の展示を行ったり、C11265 蒸気機関車運転席で機関士気分を味わってもらったりして、文化に親しみ、楽しみながら学べる機会を提供します。



2. 文化・芸術活動の活性化

市民が文化芸術についての価値を見出せるよう、触れ親しめる機会を作り、市民の文化・芸術活動を活発に行えるよう支援します。また、郷土の歴史への理解と文化の振興に努めます。

施策名	内容
文化事業の充実	質の高い芸術や芸能等の文化と身近に接することができるよう文化振興の拠点である雁宿ホールの事業を充実します。また、文化振興を図る事業を充実します。
音楽文化の充実	交響楽団などの高い専門性を持つ団体と連携をし、コンサート等を開催します。 各団体へのアウトリーチやワークショップを行い、次世代への文化の伝承に努めます。 音楽のあるまちはんだの新たな音楽文化の醸成を図る事業を充実します。
企画展、館蔵品展等の展示会及び講座の開催	魅力ある展示会や講座を開催することにより、来館者の増加に努め、子どもから高齢者まで、幅広い層の学習機会を充実します。
新美南吉を通じた学びの応援	時宜を得た企画展や講座を開催することで、新美南吉とその文学についての多様な学びを応援します。また、ガイドボランティア活動を通じて学んだことを活かす場を提供します。
特色ある半田の文化の魅力的な発信	文化財保存団体等との連携による半田の特色ある文化についての体験講座の開催や、高校生や大学生などの視点を取り入れた若者が興味をもてる情報発信を行います。
学校等と連携した郷土学習の推進	半田の特色である、海運・醸造文化やそこから育まれた山車を始めとする文化や文化財について、博物館と学校等が連携し、小学生の時期から触れ親しむことで郷土への誇りと愛着、文化への保護意識や当事者意識を育みます。
歴史的観光資源でのイベントの開催	蔵のある半田運河や、半田赤レンガ建物等でのイベントなどを充実させます。